

日本アロマセラピー学会 熊本地震のボランティア活動に際して

目的

熊本地震の被災者の方々に対して、アロマセラピー関係の支援物資の提供を行い、さらに、ハンドやフットを中心としたアロマトリートメントを行うことにより、心身の支えになる支援活動を行なうこと。

ボランティアとしての姿勢

被災地に入る際には、被災地のマナーを確認して、守って下さい。ボランティアの心無い行為で被災者を傷つけないように、プライバシーに十分配慮し、丁寧な言葉遣いで活動をしましょう。さらに、スマートフォンなどの撮影は勝手に行わず、学会の被災地担当リーダーの指示に従って下さい。

事前準備と持ち物

- ◇ ボランティア保険に事前に参加する。
- ◇ 被災地に入る時は、単独行動をせず、必ず、学会の被災地担当リーダーの指示に従い行動計画を立てる。
- ◇ 動きやすく、汚れてもよい、施術しやすい服装を着用する。
- ◇ 長時間のボランティア活動を想定し、各自で体調に合わせた水分・栄養補給の準備をする。

施術に関して

- ◇ 日本アロマセラピー学会の支援活動であるため、被災者に施術する時は、必ず、被災地担当リーダーの指示に従い、単独行動や自己判断で施術部位を変更しないで下さい。
- ◇ 施術者は、施術に際しアセスメントを行い、各自の資格の範囲内で行って下さい。被災者に対し、同意書記入やパッチテストは行いませんので、施術の可否判断が難しい場合は、学会員医師や被災地担当リーダーの指示を仰いでください。
- ◇ 自分が施術を行った記録は、各自で記録をして下さい。被災者の名前、施術部位、症状、使用したオイルやクリーム名、症状、反応や気になったことなど。
- ◇ 優しく、心をこめて、気持ち良さを与えるトリートメントを行います。ソフトな圧で、エフルラージュを丁寧に行いましょう。

アロマトリートメントの注意事項

- ・ 施術部位の皮膚炎症状（紅斑、熱感、水疱、かゆみなど）、湿疹、創傷がある部位の施術はしません。（例えば、下腿の施術ができないと判断した場合は、希望があればハンドトリートメントを行う）
- ・ インフルエンザや熱発時は、施術はしません。

エコノミークラス症候群について

- ・ 今回は避難所の駐車場で車中泊する人も多く、深部静脈血栓症（DVT）の頻度が高い（7人に1人）
- ・ 運動機会の少なくなった人で足の腫れ（特に下腿の左右差）が増強した人は血栓症ありと考えると良いと考えられます。施術前に十分な水分摂取と他動的に下腿運動なども行ってあげて下さい。
- ・ 蜂窩織炎などと鑑別が困難な場合もありますので上記の皮膚炎症状には留意
 - ➡ 皮膚炎症が強い場合や強い下腿浮腫は医療処置を要する場合がありますので周囲の医師等に必ず相談して頂くようにして下さい（定期的な DVT チームの巡回も行われているようです）